

5月の政治・経済イベント

重要 01 各国の新型コロナウイルス感染状況と行動制限措置の行方

各国で感染者確認数の増加ペースが顕著に鈍化するかが注目されます。新たな感染者数が回復者数を下回って感染中の患者数が減少し、医療システムへの負荷が縮小するかが焦点となります。そうなれば、人々の移動や行動の制限措置を緩和することも可能になり、景気悪化に歯止めがかかることが期待されます。ただし、制限緩和を急ぎ過ぎると感染再拡大のリスクもあり、注意が必要です。

重要 02 景気と原油価格の動向

これまでに発表された各国の経済指標を見ると、感染拡大による景気の悪化がまだ出尽くしてはいないようです。今後発表される経済指標で各国の景気悪化の度合いがより明確になるでしょう。また、感染拡大ペースが十分に鈍化しなければ、行動制限措置が延長され、景気悪化が長引く懸念が高まります。こうした場合、4月に急落した原油価格が、需要減少や在庫累増によって再び大きく下落して金融市場を動揺させる可能性もあります。

重要 03 トランプ米大統領支持率

米国で感染拡大が広がり、犠牲者も多数になっていることで、トランプ大統領の対応への評価が、大統領選挙に向けて大きな注目点になりそうです。トランプ大統領は経済活動再開の指針を示しましたが、早期の活動再開を求める声と感染拡大への懸念を巡り、与野党の対立が強まる可能性があります。大統領選の行方を占う上で、各種世論調査による大統領への支持率の動向が注目されます。

5月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(金)	米国 	ISM (サブライマネジメント協会) 製造業景況感指数 (4月)
6日(水)	日本 	緊急事態宣言効力終了期日 (予定)
7日(木)	中国 	貿易収支 (4月)
8日(金)	米国 	雇用統計 (4月)
15日(金)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資 (4月)
15日(金)	米国 	鉱工業生産指数、小売売上高 (4月)
18日(月)	日本 	1-3月期GDP (1次速報値)
28日(木)	ユーロ圏 	欧州委員会ユーロ圏景況感指数 (5月)
29日(金)	日本 	鉱工業生産指数、小売売上高、失業率、有効求人倍率 (4月)
29日(金)	米国 	個人所得・消費支出、個人消費支出デフレーター (4月)

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。